

むさご公民館報

2025.3月～2025.8月 262号



優勝：河内連合



準優勝：西浦

分館親睦球技大会開催

令和七年度 牟岐町社会教育関係者名簿

公民館分館役員		副分館長	和田 晃洋
出 羽	分館長	本田 妙子	〃 友久 哲朗
古牟岐	副分館長	小島 美樹	主事 中村 淳子
分館長	副分館長	大竹 重喜	副分館長 和田 龍輔
主事	副分館長	海部 太	〃 元木 奉文
主事	主事	久保田亮二	主事 和田 昌代
分館長	主事	吉野 浩治	本町 分館長 谷本 純一
分館長	副分館長	大喜田正道	副分館長 丸岡 朗
東の中	谷 誠治	福田 知行	〃 富田 正巳
同 倫	副分館長	川村 一久	上の町 分館長 前山美登里
東の中	分館長	竹木 道裕	杉 王 分館長 平井 孝史
東の西	副分館長	小澤 和久	副分館長 平野 竜平
分館長	分館長	大田 雄	山 田 分館長 新田 貴文
天神前	副分館長	大田 陽子	主事 大平 綾
川 長	分館長	家中 伴樹	大 谷 分館長 小栗 忠輝
中の島	副分館長	福田 健治	副分館長 分館長 久保 義和
川 長	分館長	一山 昌之	内 妻 分館長 和田 泰子
中の島	主事	松矢みゆき	副分館長 分館長 石上 敬介
分館長	副分館長	和田 龍司	主事 白木 雄祐
居村	主事	横尾 章道	副分館長 分館長 岡本 勉
岩本	副分館長	政明	〃 和田 賢
朋	副分館長	仲二	平 野 分館長 百々 史存
西第一	分館長	平 野	池 内 龍

筆見分館長木内繁一

“池田千昌”

牟岐の子どもを育てる会

代養世話人
葛谷 信也

(令和七年八月三十日時点)

12年目をむかえた市宇ヶ丘学園

市宇ヶ丘学園だより 第20号

令和7年8月現在で、保育園児39人・小学生81人・中学生39人が在籍しています。今年度前半も、地域の方々のご協力を得ながら、年代に応じた様々な活動を実践することができました。伝統的な行事を大切にしつつ、新たな活動にも挑戦しています。これまでの活動の様子を紹介します。



海部老人ホーム訪問



英語であそぼう



夏まつり

今年度は、年長・年中児が訪問しました。各年齢ごとに歌を披露すると、温かい手拍子や拍手をしてくださいました。最後に、「茶摘み」の歌に合わせ、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に手を合わせながら楽しい時間を過ごしました。

年中児が、デイナー先生に英語の手遊び歌「Head, Shoulders, Knees & Toes」をやさしく教えていただきました。英語の発音を真似ながら、楽しく遊ぶことができました。

今年は「とんま連」さんをお招きし、夏まつりのオープニングを飾っていました。踊りを見た後は、子どもたちも鳴り物に合わせ、とんま連さんたちと一緒に輪になって踊りました。



小学校2年生 砂の造形遊び



小学校4年生 勇太鼓体験



小学校6年生 大島スノーケリング体験

夏休みの登校日に松ヶ磯で、1,2年生合同の造形遊びを行いました。子どもたちは友達と声をかけ合いながら、楽しそうに活動していました。海水や砂、石など自然の素材を使いながら、それぞれのアイデアを形にしていく姿がとても印象的でした。

勇太鼓保存会のみなさんに勇太鼓の拍子やたたき方を教えていただきました。調子のよい和太鼓のリズムに心をはずませ、いきいきと演奏に挑戦しました。和太鼓の演奏は多くの児童が初めてで、地域の先輩に学び、地域の伝統に触れる貴重な体験になりました。

夏休み登校日に、海洋教育、また町の魅力再発見のための活動として、地域おこし協力隊の方々のガイドのもと、大島でのスノーケリングを行いました。さまざまな種類の魚や三百年サンゴが観察でき、子どもたちは牟岐の海の豊かさを再確認できました。



小中合同運動会



職場体験学習



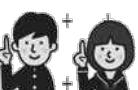
キャリア教育～ドローンについて～

1年生にとっては、中学生として迎える初めての小中合同運動会でした。それぞれの役目をしっかり果たしながら、思う存分楽しむことができました。

地域の方々のご協力のもと、中学2年生が7月に職場体験学習を行いました。2日間の体験を通して、働くことの大変さや楽しさを味わうことができました。

中学3年生がキャリア教育の一環として、ドローンについて学びました。ドローンの基本的知識やドローンビジネスについて知ることができました。

中学校弁論大会



差別をなくし、

笑顔を増やすために

牟岐中学校 一年

笹田 想希美

皆さんは「差別」という言葉を聞いて、どのような場面を思い浮かべますか。

私が小学校四年生のとき、一人で下校をしていると、前八十歳くらいの女性が歩いていました。その女性はなにか困っている様子でした。しばらくその様子を見ていると、女性は前を歩いていた成人男性一人に声をかけました。「私の家はどこですか。」思つてもみない言葉が聞こえて、私は困惑しました。すると男性は「そんなんの知るかよ。覚えとけよ。」と、冷たい言葉をかけて、女性の目を見ずに歩いて行きま

た。この時、皆さんのが私や男性の立場ならどう女性に返答したでしょうか。その女性に返す適切な言葉をすぐにはいつきますか。男性に何か言えればよかったです。なぜか言つたでしようか。三年女性の家と一緒に探せばよかったです。その女性はなにか困っている様子でした。しかし、女性の家を一緒に探し出せばよかったです。三年経つた今でも、その場面をふと思い出し、あの時どうすればよかつたのだろうとモヤモヤしてしまいます。男性はどういうなことを思つて女性にあのような言葉を投げかけたのでしょうか。面倒くさい、高齢者と接したたくない。そういう考えが少なくともあつたのではないか。

このいつた高齢者への差別的な行為をしてしまいます。人に苦手意識を持つことは誰もが経験があるのではないで

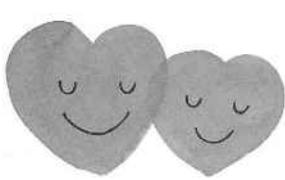
あります。そうすると、後ろに並んでいる人から暴言を吐かれて、高齢者だからと雑に扱われたり、わざと声を小さくして接客されたりすることがあるそうです。また、高齢者は何もできないと思われ、転職を断られるなど、高齢者だからという理由で差別を受けることがあるそうです。

私も、初対面の人を見た目や雰囲気、話し方でその人がどういう人なのかをよく知らぬまま判断してしまうことがあります。実際に接してみると、その人は自分が想像していたような人ではなかつたことがあります。実際に接してみると、その人は少なくありません。社会には、高齢者の他にも、障がいや性別、人種などを理由に差別されている人がいます。そのような差別を少しでもなくしていくように、「私は差別は関係ない。」「僕は差別に関わっていないから丈夫。」と考えずに、加害者、被害者、傍観者、それぞれの立場で考え、行動することが大切だと思います。そうすることで救われる人や自分のしている差別に気づくことがで

だつてあると思います。それは人として生きていく上でも大事なことの一つです。たとえ苦手意識を持っていたとしても、その人に声をかけてみたり、遊びに誘つてみたりするなど、誰かが困る意外な一面が見えてきて「この人はこんな人だつたんだな」と、新しい発見があるかもしれません。自分の思い込みだけで物事を判断するのではなく、「でも」、「もし」かしたら」という考え方を持つことが大切だと思って生活するのが大切だと思います。

今、私たちが暮らしている社会には、高齢者の他にも、人一人の行動で世界が明るく、より楽しくなると思ひます。皆さんは少しでも笑顔が増えればいいなと思います。皆さん一人一人の行動で世界が明るく、より楽しくなると思ひます。

ご清聴ありがとうございました。



きるのではないか。これからはどのよう立場で

あつても、自分の行動を客観的に見て、考え方直してみてほしいです。

『何気ない言葉かけ』
について見直そう

牟岐中学校 三年

枠田 蒼空

突然ですが、みなさんは、今の自分の言葉遣いに胸を張ることができますか。

最近、何気ない言葉で人を傷つてしまっている人が増えていると私は感じます。「ばか」や「あほ」、「死ね」などが言つてはいけない言葉であることは、すでにわかっています。ここで、私がみなさんに伝えたいのは『何気ない言葉』で人を傷つけてしまっている」ということです。

先日、友だちと部活動の話をしていたとき、「おまえ、ベンチやろ。」と言われました。おそらく面白がって、つっこみのように言つてきた何気ない言葉だつたのかもしれません、その言葉に私は腹が立ちました。

た。私は、生まれつき目が悪く、野球はあまり向いていないスポーツです。でも、野球が好きで、野球部を選んだことに後悔したことはありません。少しでもうまくなろうと休みの日に自主練習をしたり、陸上の朝練に参加したり、約9km離れた家から学校まで自転車で通つたりしました。そして、少しづつ試合に出られるようになりました。出た試合でエラーをして、ピンチを招いたり、負けたりしたこともありました。が、試合に出られる時間は、私にとつてうれしい時間でした。結局、最後の大会までレギュラーにはなれず、南部Aブロック総体で、引退しました。このように、私なりに努力をしてきた部活動です。もちろん、レギュラーの人も野球が好きで、いろんな努力をしてきてレギュラーを勝ち取つてしているので、「レギュラーだからつていばるなよ」というふうには思いません。しかし、「おまえ、ベンチやろ。」

という言葉で、私のやつてきたことが無駄だつたかのようと思え、悲しくなったことを知つてほしいです。次に、私自身の言葉について振り返つてみました。すると、私の何気ない言葉で、相手を傷つけていることに気がつきました。例えば、「なんで怒つとん?」です。ある日、友だちが怒つているときに「なんで怒つとん?」と言つてしまい、さらに怒らせてしましました。その人なりの理由があり、怒つていてるのに、その人の心の温度とは違う温度で「なんで怒つとん?」と軽はずみに言つてしまつたのです。言わなければよかつたと思つたし、言つたとして

これまで、「人を傷つけてしまう何気ない言葉」に注目して、みなさん私との経験とを考えを伝えてきましたが、「人を喜ばせる言葉」も生活には多く存在しています。私が一番言われてうれしい言葉は「ありがとうございます」です。この言葉は、相手に感謝の気持ちを伝えるときに使う言葉です。この言葉を意識せず使えてい

る人は、その恥ずかしさを乗り越えて、ぜひ「ありがとう」という言葉を使ってほしいです。言わされた人はうれしいです。また、「ありがとうございます」の發した言葉で、相手がどう思うかは、正確に当てる事は絶対にできません。しかし、相手がどう受け取るかを想像することはできると思います。だから、大切な友だちを傷つけないために、何気ない言葉でも相手の受け取り方を想像して、使っていきたいです。

これまで、「人を傷つけてしまう何気ない言葉」に注目して、みなさんに私の経験とを考えを伝えてきましたが、「人を喜ばせる言葉」も生活には多く存在しています。私が一番言われてうれしい言葉は「ありがとうございます」です。この言葉は、相手に感謝の気持ちをやつた言葉だけで素敵なかいにしていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。そん

シラタマ学級報告



☆令和7年3月26日(水)
牟岐町の慰靈踊りをのこしていこう。

子供達に慰靈踊りに興味と関心をもってもらうため、四国大学と協力してデジタル技術を活用し、着物の柄をデザインする体験をしました。



☆令和7年5月24日(土)
花炭と松ぼっくりの鶴を作ろう

落ち葉や枯れ枝から炭を作りました。また、松ぼっくりを使った簡単な模型作りをしました。



☆令和7年7月12日(土)
牟岐和紙の手漉き体験！

原料となる牛乳パックを水で濡らし軟らかくしてから、型版にはめて乾燥させることで和紙をつくりました。また今回は竹を使った木工体験も実施しました。



☆令和7年4月18日(金)
サンドブラスト体験

『牟岐あんどんの会 姥佳哩』の皆様の指導のもと透明のガラスコップの表面を専用の機械で削ることで表面に模様をつけました。



☆令和7年6月28日(土)
ビーチコーミング

牟岐町の地域おこし協力隊の方が講師となり、事前に拾い集めていた海岸のゴミを水で洗ってから粉碎し、キーholderを作りました。



☆令和7年8月20日(水)
ものづくり体験
+ピザづくり体験ワークショップ

徳島大学理工学部の学生による『建築サークル AUT』の皆様が講師となり、午前中は木工教室、午後から会場を移動してピザ窯を使ったピザづくりを実施しました。





公民館分館親睦球技大会

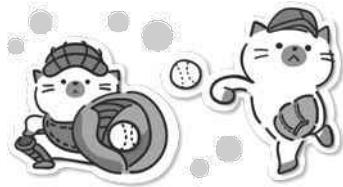


公民館分館親睦ソフトボール大会

【1日目：令和7年7月7日（月）／2日目：7月9日（水）】

旧牟岐小学校グラウンドで公民館分館親睦ソフトボール大会を開催し、昨年度と同様に「辺川・喜来・橘」、「河内連合」、「西浦」、その他の分館による「広域連合」の計4チームが出場しました。

「河内連合」対「西浦」の決勝戦では同点のまま制限時間が経過し、ルールにより両チームの代表者によるじゃんけん対決で「河内連合」が優勝しました。



※昨年度に続き分館親睦バレー大会は参加申込がありませんでしたので、今年度も実施できませんでした。来年度は是非ともご参加のほどよろしくお願いいたします。

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。

原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。

昭和二十年（一九四五年）八月六日 午前八時十五分。この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。

誰のか分からぬくらい皮膚がただれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。

一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から八十年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。

どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の

「被爆八十年 同じ過ちを繰り返さないために」
～「平和への誓い」に込める 子どもたちの思い～

牟岐町人権教育協議会
葛谷 信也

世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。世界では、今どこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとすること。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いざれ世界の平和につながるのではないかとうか。「One voice.」たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけではなく、こどもの行動することができます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、「一度と繰り返さないために、私たちが

被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

平成七年、被爆五十周年の平和記念式典で、初めて子ども代表が「平和への誓い」を述べました。

広島市立皆実小学校
六年 関口千恵璃
六年 佐々木駿

た被爆の実相を言葉にしていきます。子どもたちが感じたのは、被爆の惨状だけではなく、そこに居た被爆者の人生にも思いを馳せていきます。そして、たかさんの思いや気づきが書き込まれた付箋をもとに、「自分たちは未来に何ができるのか」をみんなで話し合い、自分たちの「平和への誓い」を考えていきます。このようにして、自分と向き合って感じたことや、チームで話し合って新たに気づいたことが整理され、代表二十人の子どもたちによつて、小学生一万人の平和への思いが込められたメッセージが出来上がっています。

六日に向けて日本だけでなく世界中にたくさんの思いを発信していくみたい。」と語っていました。同じく代表の関口さんは「子どもよりも大人はたくさん知識を持つていて、でもその人たちがなんでこんな悲惨な戦争を引き起こしてしまったんだらう」ということは感じていました。「だから子どもだからできること。大人にはできないけど子どもだからこそできることを考えました。日本とかのスケールではなく、世界中だからわくわくしています。楽しみです。」と語り、八月六日の平和記念式典では、堂々と平和の誓いを発信することができました。

トを紹介している代表の佐々木君は、検討会議の話合いの中で誓いの言葉の中に盛り込みたい言葉があると、その思いをみんなに伝えました。「例え一つの声でも真実に希望を込めて語れば世界に変化をもたらすことができる。あなたたちもこの一つの声になつて世界を変えていきませんか。」という言葉です。

そして検討会議を終え、「メンバー十人の平和に対しても思いや、戦争はよくないといふ思いがよく伝わったし、八月

被爆八十年を迎へ、被爆を経験した方々がだんだんと少なくなっていく中、この戦争で人類が犯した過ちが風化されること無いようこれからも語り継いでいかなければなりません。多くの人がこの事実と被爆者の思いを知り、平和への思いを強くしていかなければなりません。

・・・・・ 公民館サークル紹介 ・・・・・

牟岐音頭保存会

練習日 全員参加練習 5月～8月 毎週木曜日19時～
場所 浜の家
代表 角田 初 ☎0884-72-1072

牟岐町お盆の伝統行事として、その年に亡くなられ初盆を迎えた、故人を弔い、偲ぶために約200年余り前から、各家の前、辻々で慰靈踊りが行われておりました。

これとは別に、文化3年、牟岐町の青木家に身を寄せていた、浪人が文章を長じ、芸能の才もあったところから、淨瑠璃から選択した物語を何題も作成したという記録が残っております。

その後、牟岐町東浦の、三味線師匠や、有志が前記記録に節付けして拍子木や合間をとって仕上げたものが今の牟岐音頭（淨瑠璃くずし）といわれております。（牟岐町指定無形文化財）（内容、牟岐町史参照）

この伝統ある牟岐音頭を伝承するために頑張っているのが、牟岐音頭保存会です。

音頭の役の構成は「音頭語り」「拍子木」「三味線」「拍子取」の4種類があり、それぞれ得意分野で活躍できます。冒頭練習日の他に初心者の方については、テープ、CDなど家庭で練習できるよう準備いたします。

音頭保存会の活動の場所は、コロナ禍から団体活動が禁止され、施設慰問等、活動場所が無くなっていますが、令和6年8月から牟岐慰靈踊りの会の方々が、慰靈踊りを復活させていただきました。今後も牟岐音頭保存会存続のため精進したいと思います。

皆さん200年余り前の語り（歌声）を学んでみませんか。



ブルーエコー

練習日 第2・第4木曜日 19時～
場所 海の総合文化センター
部長 藤元優子

私達は女声コーラスグループ、ブルーエコーです。約30年以上の歴史がある合唱団です。歌が大好きな仲間が集まって和気藹々とコーラスを楽しんでいます。コーラスはソプラノ、メゾソプラノ、アルトの三部に分かれて歌います。最初は他のパートにつられたり、音程やリズムがとれなかったり…と練習に苦労することも正直あります。でもみんなで励まし合い、楽譜と睨めっこしながら繰り返し練習し、全員の声が合わさって綺麗なハーモニーが生まれると、とっても嬉しくなります。

一人で歌うも良いのですが、仲間と一緒に切磋琢磨しながらハーモニーをつくりあげることは、格別の楽しさがあると思います。そして私達は合唱曲や童謡に限らず色々な年代の歌謡曲、そしてアカペラ（無伴奏）にも挑戦しています。私自身ブルーエコーに入って、歌のレパートリーが増えたのが嬉しいです。時には笑い話をしながら、仲間と一緒に心を合わせて歌うのはシンプルにとても楽しいです♪お腹から思いきり声を出して、ストレス発散＆リフレッシュしませんか？

初心者の方、大歓迎です。コーラスって難しそう…と私自身そう思っていた初心者でした。

お気軽に気楽に見学にいらしてください。是非お待ちしています。私達と一緒に楽しく歌いませんか？
（主な活動）

文化の集い、敬老の集い、出羽島アート展、病院・老健施設訪問など。

全日本おかあさんコーラス徳島県大会に連続出場した経験があります。

YouTubeチャンネルがあります。「牟岐町ブルーエコー」で検索してみてください。



牟岐短歌会



義母の背の
汗でくつつく 服脱がし
真夜中も 回り続ける 今同じこと
お地蔵さんの 赤い前垂れ 秒針に
底にも穴がある 手を当て探る 夫に頼めり
心を込めて 縫いし人あり われの鼓動を
藤川はやみ

(短歌研究・月号:高野公彦選)
藥王寺の 厄除け坂を 笑うはガザの 九十歳か
鶯春夫と 登るは卒寿

どん底の 底にも穴がある あるのこと
(読壳四国文芸土谷公代選)
評 二十三番薬王寺には、女・男・還暦厄坂がある。
作者は、鶯春夫さんにあやかつて頑張っているのだ。

ハツと追い 小鳥と競い 食べている
(自薦 口腔ケアとパタカラ短歌)
令和七年八月十二日 酷暑の夏の ブルーベリーを
藤井利一

生活音 背なか丸く 白髪の我が ガラス戸に
島の道 母に似てると 思つた瞬間
誰にも会わらず 墓参を終える
鳴いたと記した 三年日記
杉本雅代

船大工の 庭に咲きたる 松葉ボタン 呼ばれし家の(中西銀一さん宅)
觀音堂と

(初代)若ノ花と

千代の山の

大相撲

(勝負つかず行事あずかり。)

もし我にピアノが弾けたら

弾いてみたきよ ダニー・ボーアを

灼熱のタクラマカン(砂漠)もかくなるや

直射日光 四十六度に

ウイグルのオアシア 哈密辺り

甘き瓜が特産なると

シルクロード 旅する人もまたラクダも

その甘き瓜で 喑潤ほのか

山際の墓地の草木の大掃除

墓参りする人 少なくなれど

山岡誠次

藤井利一(相生川柳から)

双卒寿

十坪十色の花咲かす

双卒寿

はなさ
十坪十色の花咲かす

ぬばたまの闇の世を呼ぶ

かえり咲き

(米国大統領トランプ氏)

バスの旅 小用タイム

多くなり

竹輪には

竹輪の仁義狭い穴

肉厚のちくわ。

業者さんは頑張ってくれています。

人間の仕業で地球

煮えたぎる

(民医連いつでも元気誌)

ぬい活も悪くはない

とミシン踏む

(徳島新聞柳檀)

令和七年八月三日

ふたば川柳



人のうごき

令和7年・9・1

総人口	3,326人
男	1,566人
女	1,760人
世帯数	1,863戸
高齢化率	54.51% (65歳以上)
令和7年3月からの出生数合計: 2人 (牟岐町で受理した出生届3月~8月末受付分まで合計)	



「ご結婚おめでとう」
「お誕生おめでとう」

は受付時、牟岐町に住所がある方で、掲載を希望された方を対象としています。

牟岐町外で届出をされた方で、公民館報への掲載を希望される場合は、

★牟岐町海の総合文化センター
(TEL 72-0107)

又は、

★牟岐町役場 住民福祉課
(TEL 72-3415)

までご連絡ください。

ご結婚おめでとう

令和七年三月

田岡 佑輝
小村 真由
(山田)
(板野郡)

※掲載希望届け
令和七年三月～令和七年八月分まで

むぎ公民館報 第二六二号

令和七年九月三十日発行

※掲載希望届け
令和七年三月～令和七年八月分まで



中山 喜陽ちゃん



ナイラ イッザティハキキちゃん

△令和七年三月
中山 拓真・瞳
長男 喜陽(橘)

△令和七年五月
ムグニ シュフィハキキ・ヴィキ リズキヤ
長女 ナイラ イッザティハキキ(川長)

お誕生日おめでとう

